

■面会制限を撤廃すると重症患者のせん妄は予防できるのでしょうか？

Westphal GA, et al. Effect of a 24-h extended visiting policy on delirium in critically ill patients. Intensive Care Med. 2018 doi: 10.1007/s00134-018-5153-5. [Epub ahead of print]

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/29605880>

ブラジルで行われた前後比較試験です。ICUに48時間以上入室すると考えられる患者の家族や親類に対して、面会時間を通常の面会時間もしくは上限6時間までの面会を選択可能とした時期（2015年3月～2016年2月）と通常の面会時間もしくは上限24時間までを選択可能とした時期（2016年3月～2017年2月）のせん妄の発生率を調査しました。上限6時間の面会を希望した割合は44.9%であり、24時間の面会を希望した割合は68.6%でした。家族や親類が滞在している割合は、面会時間の制限を拡大する前後で、午前中（6:00～12:00）は4.6%から23.6%に、午後（12:00～18:00）は5.2%から27.6%に、夜間（18:00～6:00）は1.9%から10.8%に有意に増加しました。一方、せん妄の発生率が12.1%から6.7%に有意に低下し（ $P=0.03$ ）、1000患者・日当たりの発生割合も29.4から15.9に有意に低下しました（ $P=0.02$ ）。前後比較試験であるので結果の解釈には注意が必要ですが、面会制限を設けず24時間面会可能とすることは、せん妄を予防する可能性があるかもしれませんね。